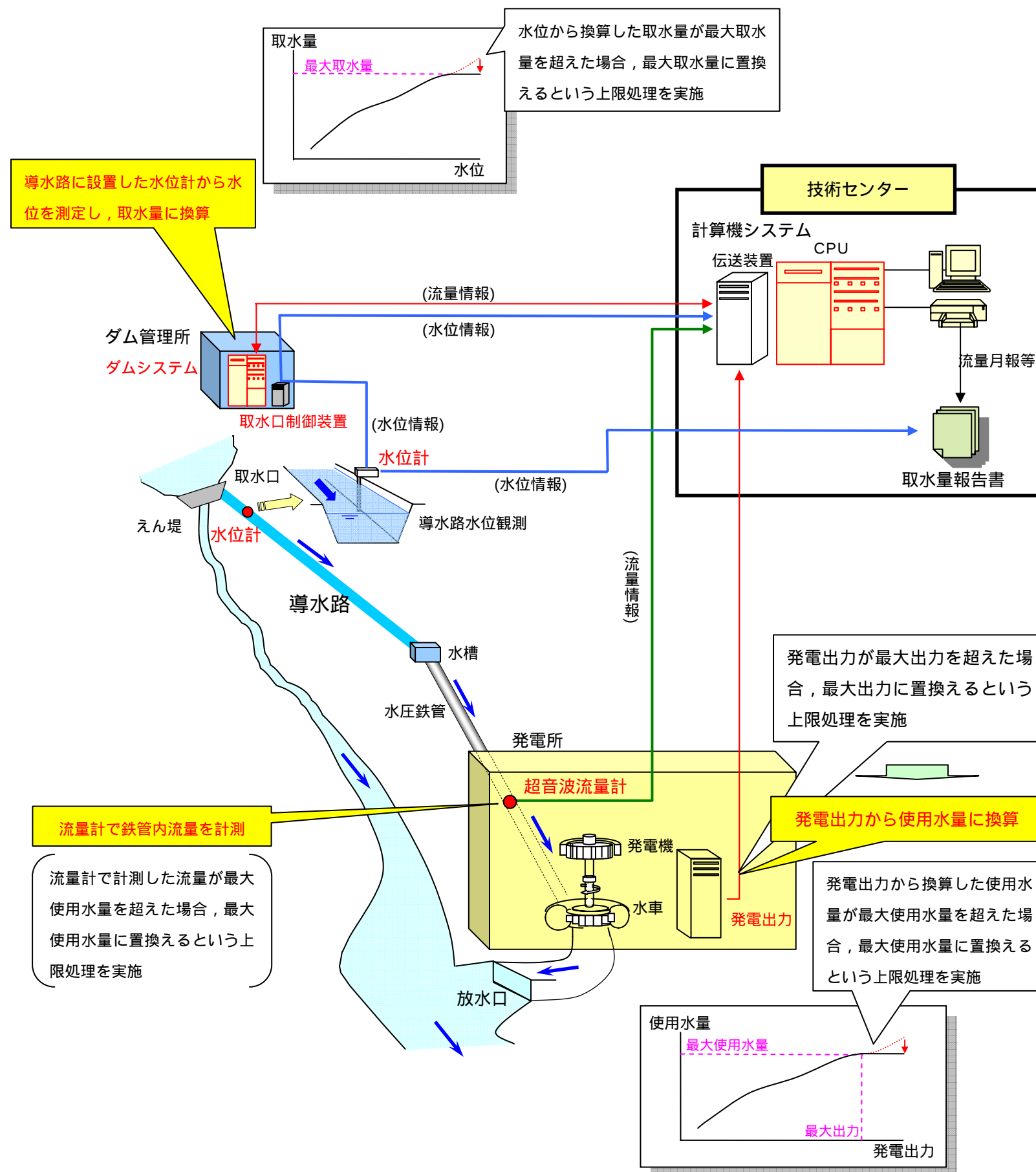
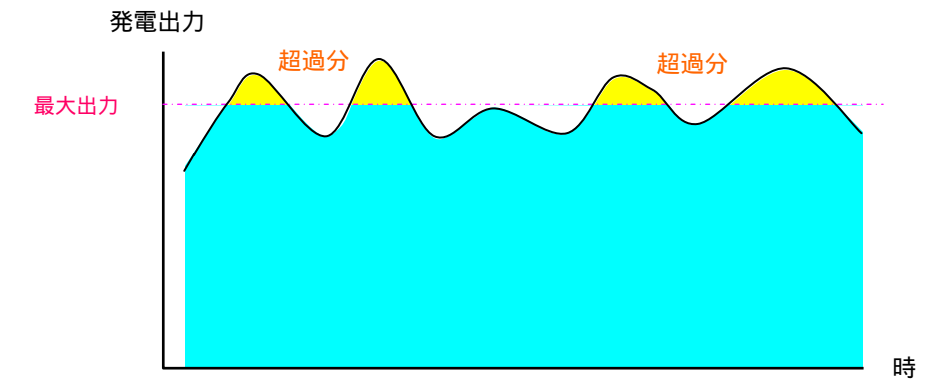


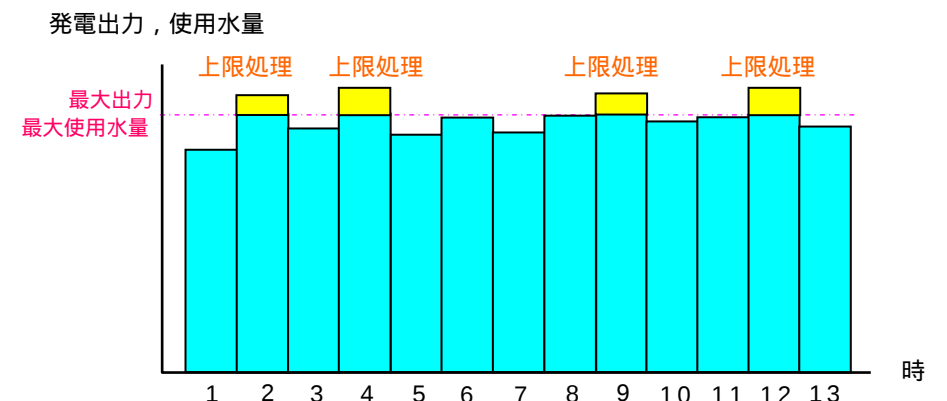


発電出力のゆらぎ

水位、系統周波数変動および制御遅れや機械のあそび、不感帯など技術的に制御不可能な要因により、発電出力が最大出力を**僅かながら超過**（出力のゆらぎ）



発電出力・使用水量の上限処理



上限処理実施の経緯

- ・ 水力発電所では許可された水資源を有効活用するために発電出力目標値をできるだけ最大出力に近づけて運転しているが、技術的に制御不可能な要因のため発電出力のゆらぎが発生する。
- ・ 発電出力を一定に制御することができないため計測値が最大出力を超える場合があり、監督官庁へ説明できないとの意識から、最大出力に置換える上限処理を行うようになった。
- ・ 上記処理は手作業により昭和40年代以前から行われており、その後、昭和50年代前半に計算機システムが導入されて以降、順次、本プログラムが導入された。
- ・ 使用水量についても同様の経緯で同時期に上限処理が行われるようになった。